

2025年3月12日

輸送動向について（2025年2月分）

1. 輸送概況

国内景気の緩やかな回復基調が続く中、消費者物価の上昇や個人消費の足踏み状態は長引いている。また、当社においては、前年はうるう年により稼働日数が多かったほか、本年は輸送障害による減送が大きく、輸送実績は一部品目を除き前年を下回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の運搬により前年を上回ったものの、積合せ貨物は、冬型の気圧配置に伴う雪害での列車運休により前年を下回った。また、農産品・青果物は、九州地区の馬鈴薯や生野菜が天候不順により低調な荷動きとなったほか、鉄道シフトが続いた清涼飲料水及びビール類は前年を上回ったものの、輸送障害の影響により菓子や砂糖等が減送となり、食料工業品は前年を下回った。コンテナ全体では前年比98.2%となった。

車扱は、石油が、寒波の影響により灯油の需要が増加したほか、ガソリン及び軽油が堅調な荷動きとなり、前年を上回った。車扱全体では前年比105.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比100.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,448	1,474	98.2%	16,817	16,384	102.6%
車 扱	818	779	105.0%	7,744	7,601	101.9%
合 計	2,266	2,254	100.5%	24,561	23,985	102.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	129	140	-11	92.2%
	化学工業品	124	126	-1	98.4%
	化学薬品	88	90	-2	97.3%
	食料工業品	221	229	-8	96.5%
	紙・パルプ	168	168	0	100.2%
	他工業品	95	97	-1	98.8%
	積合せ貨物	232	257	-25	90.3%
	自動車部品	62	60	1	103.1%
	家電・情報機器	27	29	-1	94.1%
	エコ関連物資	56	29	26	188.8%
	その他	242	245	-3	98.6%
	コンテナ計	1,448	1,474	-26	98.2%
車 扱	石油	588	543	44	108.2%
	セメント・石灰石	125	129	-4	96.8%
	車 両	75	75	0	100.4%
	その他	29	31	-2	92.8%
	車 扱 計	818	779	38	105.0%
合 計		2,266	2,254	12	100.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)